

## 平成23年度中野区教育ビジョン(第2次)重点課題実績報告及び成果指標について

1 確かな学力の定着 .....	1
2 健康の増進と体力の向上 .....	2
3 豊かな心の育成 .....	4
4 特別な支援が必要な子どもへの対応.....	5
5 幼児期からの継続的・発展的な教育の推進 .....	7
6 地域・家庭・学校の連携 .....	8
7 学校再編 .....	9
8 学習やスポーツを通じた社会参加.....	10
9 学びと自立を支える新しい図書館づくり.....	12
10 区の歴史文化・伝統文化の継承と発展.....	14
11 安全と環境に配慮した学校施設整備.....	15
12 学校の情報化推進 .....	16
※目標ごとの成果指標一覧.....	17

重点課題進行管理項目	1 確かな学力の定着	担当	学校教育分野指導室 学校・地域連携分野次世代育成担当
------------	------------	----	-------------------------------

■重点推進事業の実施内容・実績、検証

重点推進事業名	5年後に目指す状態	平成23年度 実施内容・実績	検証(成果、24年度以降への改善点等)
家庭学習習慣化の「てびき」の作成	小中学生の家庭学習の学習時間が増加している。	・家庭学習の取組資料(案)を作成した。	・「家庭学習の手引」を作成し、活用する。
若手教員育成を柱とした研修(OJT)の仕組みづくり	校内の若手教員育成の仕組みに沿って人材育成がなされている。	・若手教員研修について、以下の内容を見直した。 *初任者から3年次研修までの育成内容の焦点化 *研修内容に今日的教育課題を追加(防災教育等)	・若手教員育成研修要綱を検討し、策定する。
学校支援ボランティア制度の導入	ボランティアの活用により、教員が授業に専念でき、子どもと向き合える環境が整っている。	・平成23年9月学校支援ボランティア制度開始 ・平成24年3月26日現在 登録人数 137人 ・平成23年度活動実績 延活動人数 10,970人	・学校とコーディネーターの連携強化(学校支援会議の開催など) ・団体登録制度の創設(平成24年4月20日施行) ・登録ボランティアの活用 ・PRの充実(活動事例の紹介など) ・ボランティアの供給と学校の需要を結び付けるシステムづくり

重点課題進行管理項目	2 健康の増進と体力の向上	担当	学校教育分野指導室 学習スポーツ分野スポーツ担当 学校・地域連携分野地域施設運営担当 保育園・幼稚園分野就学前教育連携担当
------------	---------------	----	--

■重点推進事業の実施内容・実績、検証

重点推進事業名	5年後に目指す状態	平成23年度 実施内容・実績	検証(成果、24年度以降への改善点等)
中野スタンダード達成のための取組の推進	中野スタンダード達成率を70%にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校6年生は63%、中学校3年生は67%の達成率である。</li> <li>・学校教育推進事業研究校における研究・発表を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育向上事業等による研究の推進を図る。</li> <li>・重点項目の抽出と対策の検討を行う。</li> </ul>
体力向上プログラムの改訂と授業モデルの作成	体力向上プログラムの定期的な改訂と区全体の体力向上施策の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力向上プログラムを実施した。</li> <li>・フラッグフットボール大会を健康福祉部学習スポーツ分野と連携し実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区全体での体力向上施策と関連した体力向上プログラムの策定を行う。</li> </ul>
地域スポーツクラブの運営・拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲町小学校跡施設及び中野富士見中学校跡施設に、拠点施設が開設され、安定した管理運営を行っている。</li> <li>・任意団体が一般社団法人化されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中野区地域スポーツクラブ理事会・評議員会の開催(2回)</li> <li>・地域スポーツクラブ事業を想定したプレ事業「健康スポーツ教室」の実施(4回)</li> <li>・健康づくり・スポーツ推進モデル事業「キックオフイベント」の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「キックオフイベント」の延参加者数は、基調講演131名、パドルテニス教室53名、トリム体操教室57名、グラウンドゴルフ教室47名、フットサル39名。</li> <li>・今後は、モデル事業を行いながら、任意団体「中野区地域スポーツクラブ」とともに地域スポーツクラブ開設時の事業運営内容について検討していく。</li> </ul>
小学校へのキッズ・プラザの設置	小学生は、地域の人たちに見守られながら、校庭や体育館を活用し、体を使って、のびのびと遊んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年4月 キッズ・プラザ桃花、武蔵台開設</li> <li>・平成23年11月 キッズ・プラザ緑野開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校再編にあわせて、整備の考え方を整理する。</li> <li>・生涯学習館跡施設などへの整備について検討を進める。</li> </ul>

<p>幼稚園・保育園等での指導との連続性を重視した体力づくりの取組の実施</p>	<p>区全体で保幼小連携の体力づくり施策を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保幼小連絡協議会の実施</li> <li>・親子元気アップ事業の開催(中野地区) 参加人数:幼児・児童19名、保護者18名</li> <li>・区立幼稚園による学校教育向上事業の研究発表</li> <li>・「運動遊びプログラム」の普及活動と効果の検証 説明会開催2回 延べ参加者数95名 検証協力保育園幼稚園12園 参加児数約400名</li> <li>・「運動遊びプログラム実践報告会」の開催 幼稚園教諭・保育士参加数51名</li> <li>・教育委員会事務局主催小学校教諭研修「体力向上研修会」への参加 区立保育園保育士17名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保幼小連絡協議会の充実を図る。</li> <li>・体力向上施策の検討、実施を行う。</li> <li>・学校教育向上事業の研究成果の周知と検証を実施する。</li> <li>・「運動遊びプログラム」を保育に取り入れている保育園幼稚園 30園</li> <li>・「運動遊びプログラム第2版」を作成し、体力づくりの取組を重視した小学校との連携をすすめていく。</li> <li>・「運動遊びプログラム第2版」の普及活動を進めるとともに、更に効果の検証も行っていく</li> </ul>
--	--------------------------------	--	--

平成23年度 教育ビジョン(第2次) 重点課題実績報告

重点課題進行管理項目	3 豊かな心の育成	担当	学校教育分野指導室 学校・地域連携分野体験学習担当
------------	-----------	----	------------------------------

■重点推進事業の実施内容・実績、検証

重点推進事業名	5年後に目指す状態	平成23年度 実施内容・実績	検証(成果、24年度以降への改善点等)
発達段階に応じた体験的活動の充実	様々な体験活動の場が用意されており、各学校の学習計画に基づく独自の体験学習が行われている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災をはじめとした状況の変化を踏まえ、「今後の校外施設のあり方」を策定した。</li> <li>・小学校移動教室 参加数2,903人 参加率98.7%</li> <li>・中学校日帰り移動教室 参加数983人 参加率98.7%</li> <li>・中学校林間学園 参加数1,057人 参加率93.6%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動教室選択制の実施にかかる宿泊費の公費負担の考え方を明らかにする。</li> <li>・平成25年度選択制の実施に向けての学校との調整を進める。</li> <li>・新たな体系に基づく、中学校の冬季移動教室(スキー)の円滑な実施を図る。</li> </ul>
中学生の保育体験の全校実施	全校での保育体験を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校で保育園等と連携し、家庭科ならびに職場体験で保育体験を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校在学中に全生徒が保育体験ができるようにする。</li> </ul>
教育相談体制の整備・適応指導教室の拡充	不登校児童生徒が学校復帰をした割合 小学校35% 中学校25%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談回数 3,859回</li> <li>・適応指導教室 通級児童・生徒数 321人</li> <li>・不登校児童生徒が学校復帰をした割合 (平成22年度) 小学校 27.0% 中学校 21.6% 平成23年度数値については現在確認中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適応指導教室連絡会を実施し、適応指導教室と学校の連携を図る。</li> </ul>

重点課題進行管理項目	4 特別な支援が必要な子どもへの対応	担当	学校教育分野特別支援教育担当 学校教育分野指導室 子育て支援分野特別支援教育等連携担当
------------	--------------------	----	---

■重点推進事業の実施内容・実績、検証

重点推進事業名	5年後に目指す状態	平成23年度 実施内容・実績	検証(成果、24年度以降への改善点等)
成長過程を通じて一貫した発達支援体制の推進	すこやか福祉センターなどの相談機能や連携支援の強化により、安心して保育園・幼稚園、学校へ通っている子どもと保護者が増えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期から学齢期、成人期に向けて、成長過程を通じた一貫した支援を行うための「発達支援推進会議」を開催し、検討を行った。 *開催数：全体会1回、部会活動 計9回</li> <li>・小学校入学時に乳幼児機関（保育園・幼稚園・療育施設）における支援内容を伝達し、支援の継続を図るための申送り連絡会を実施。 *対象児童数：125人</li> <li>・申送りを行った児童の継続支援・保護者相談に活用するため、関係機関（学校・学童クラブ・すこやか福祉センター等）による個別支援計画会議を実施。 *個別支援計画数：160件（小学1年・4年生）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期・学齢期支援の検討及び成人期への移行支援について課題整理を行い、共通認識が図れた。</li> <li>・申送り、個別支援計画会議等については、開始から5年経過し、定着してきたとともに、関係機関の連携が進んできた。</li> <li>・申送り等の移行支援を開始した対象児童が6年生となるため、中学校入学時の支援内容の引継ぎの実施を要する。</li> <li>・個別支援計画作成対象児童の増加等により対象児童の絞込みなど会議運営を精査する必要がある。</li> </ul>
特別支援学級の増設	小学校に特別支援学級が2校増設され、障害に応じた教育の場が一層確保されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若宮小学校に特別支援学級（情緒障害等）を開設するための整備工事等を実施した。</li> <li>・中野神明小学校に特別支援学級（知的障害）を開設するための予算計上や関係者への説明などを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年4月に、若宮小学校に特別支援学級（情緒障害等）を開設した。</li> <li>・特別支援学級（知的障害）への通学の便や地域バランスを考慮して、平成25年4月に新たに中野神明小学校に開設するための整備工事を実施する。</li> </ul>

<p>小中学校への特別支援教室の整備に向けた検討（巡回指導員の養成、教室の整備等）</p>	<p>全小中学校で巡回指導が実施できるように、教室の整備と指導員の養成を行うための検討・準備が進められている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年1月に決定した「中野区立小中学校における特別支援教育推進のための方針」の中で、特別支援教室における巡回指導の方向性を明らかにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「中野区立小中学校における特別支援教育推進のための方針」で示している課題について、東京都の動向を注視しながら、教育委員会事務局としての検討を行っていく。</li> </ul>
<p>日本語指導教室の設置</p>	<p>モデル校に日本語適応教室を設置する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語適応教室を27回実施し、延べ111名参加した。</li> <li>・日本語通訳派遣 派遣件数 23件。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語適応教室と日本語通訳派遣の指導内容の検討を行う。</li> </ul>

平成23年度 教育ビジョン(第2次) 重点課題実績報告

重点課題進行管理項目	5 幼児期からの継続的・発展的な教育の推進	担当	学校教育分野指導室 保育園・幼稚園分野就学前教育連携担当
------------	-----------------------	----	---------------------------------

■重点推進事業の実施内容・実績、検証

重点推進事業名	5年後に目指す状態	平成23年度 実施内容・実績	検証(成果、24年度以降への改善点等)
幼稚園教諭、保育士、小学校教諭等の合同研修、訪問研修の実施	幼稚園教諭、保育士、小学校教諭等の合同研修、訪問研修が定期的に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合同研究会(研究報告会など)を実施した。開催回数:計5回 延べ参加人数269名</li> <li>・幼児研究センターの合同研究「幼児期の教育」を実施した。参加:区内幼稚園教諭・保育園保育士14名</li> <li>・教育委員会事務局主催小学校教諭研修「体力向上研修会」への参加 区立保育園保育士17名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園・保育園の職員合同の研修を実施することにより、中野の子どもの課題の解決に向けて一緒に取組む機会になっている。</li> <li>・実践をふまえながら、保幼小合同研修会の実施を推進する。</li> </ul>
幼児教育から義務教育への円滑な接続を図るための保育・指導プログラム等の作成(保育士や幼稚園教諭、小学校教諭の連携による作成)	円滑な接続のための「中野区就学前教育プログラム」が策定され、区内幼稚園・保育園に周知・普及されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区立幼稚園で保育内容の園内研究を実施した。</li> <li>・保幼小代表者からなる教育連携検討会を立ち上げ、「中野区就学前教育プログラム」の作成に着手した。</li> <li>・保幼小連絡協議会を実施した。参加園(校):公私立保育園・区立幼稚園全園、私立幼稚園23園、小学校全校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年10月末を目途に「中野区就学前教育プログラム」を策定する。</li> <li>・教育連携検討会において、保幼小連絡協議会を含め、幼保と小学校の連携の在り方について検討していく。</li> </ul>
幼保と小、小と中の連携教育の標準的方法の作成	幼保と小、小と中の連携教育の標準的方法を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中接続時における指導方法の検討・指導方法案を作成した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保小、小中連携教育の指導方法の検討を行う。</li> </ul>
連携教育モデル校の指定及び拡充	連携教育モデル校を拡充する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育向上事業により、幼保小・小中連携教育の研究発表を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育向上事業の研究推進及び研究成果の周知を図る。</li> </ul>
一部教科での小中一貫カリキュラムの作成に向けた課題整理	小中一貫カリキュラムの課題をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続時における主要教科のカリキュラム案の検討を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中接続時におけるカリキュラム案を作成し、実施検証を行う。</li> </ul>

平成23年度 教育ビジョン(第2次) 重点課題実績報告

重点課題進行管理項目	6 地域・家庭・学校の連携	担当	学校・地域連携分野次世代育成担当 学校教育分野指導室
------------	---------------	----	-------------------------------

■重点推進事業の実施内容・実績、検証

重点推進事業名	5年後に目指す状態	平成23年度 実施内容・実績	検証(成果、24年度以降への改善点等)
学校支援ボランティアなど地域の人材活用の基礎づくりや支援体制の構築	地域の様々な人材が学校支援ボランティアとして活用されることにより、家庭・地域・学校が一体となって地域ぐるみで子どもを育成する気運が醸成されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年9月学校支援ボランティア制度開始</li> <li>平成24年3月26日現在 登録人数 137人</li> <li>平成23年度活動実績 延活動人数 10,970人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校とコーディネーターの連携強化(学校支援会議の開催など)</li> <li>団体登録制度の創設(平成24年4月20日施行)</li> <li>登録ボランティアの活用</li> <li>PRの充実(活動事例の紹介など)</li> <li>ボランティアの供給と学校の需要を結び付けるシステムづくり</li> </ul>
第三者による学校評価を盛り込んだ新しい学校評価の仕組みの構築	全校で第三者評価を組み込んだ学校評価を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価検討委員会で、第三者評価のあり方を検討した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者評価についてモデル実施を行い、第三者評価のあり方を検討する。</li> </ul>

重点課題進行管理項目	7 学校再編	担当	子ども教育経営分野学校再編担当
------------	--------	----	-----------------

■重点推進事業の実施内容・実績、検証

重点推進事業名	5年後に目指す状態	平成23年度 実施内容・実績	検証(成果、24年度以降への改善点等)
「中野区立小中学校再編計画」に基づく学校再編の実施	適正な規模となった統合新校で、子どもたちが生き生きと、かつ安全に安心して新しい学校生活を送っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第九中学校・中央中学校統合委員会では、統合新校の学校指定品や校章、校歌などの意見がとりまとめられ、平成24年4月には、統合新校として中野中学校を開校した。</li> <li>・学校統合に伴う施設改修工事や新校舎改築の検討など、学校施設や設備の充実に向けて取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校統合委員会での協議が順調に進められ、円滑な学校再編ができた。学校統合に伴う施設改修工事は、学校運営に支障をきたさないように進めていく必要がある。</li> <li>・学校統合委員会を早期に立ち上げ、改修工事などについての意見を取りまとめていくとともに、保護者等へは適時適切な情報提供を行っていく必要がある。</li> </ul>
学校再編の中後期計画化と実施	小中連携や学校と地域との連携などを踏まえた学校再編計画の改定がなされ、その計画に基づく学校統合への取り組みが着実に進んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会において、学校教育の充実に向けた新たな課題への対応や前期の再編の検証、国・東京都の動向などを踏まえ検討を進め、中野区立小中学校再編計画改定における基本的な考え方(案)をまとめた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な考え方に基づき、具体的な学校再編計画の改定に向け、教育委員会で協議を進めていく必要がある。</li> <li>・学校再編計画を改定するにあたり、区の財政状況や避難所機能など関係部署との調整をしていく必要がある。</li> </ul>

重点課題進行管理項目	8 学習やスポーツを通じた社会参加	担当	学習スポーツ分野 生涯学習支援担当/生涯学習調整担当/ スポーツ担当
------------	-------------------	----	--

■重点推進事業の実施内容・実績、検証

重点推進事業名	5年後に目指す状態	平成23年度 実施内容・実績	検証(成果、24年度以降への改善点等)															
「なかの生涯学習大学」の実施、卒業生の地域活動の促進	大学卒業生の半数以上が1年以内に地域活動に参加している。	<p>・現代社会の課題や地域の現状などについて、学識経験者（主に大学教授等）などによる講演、区職員や専門家などによるゼミ、3学年が合同して地域単位で行う地域学習などを実施。</p> <table border="1" data-bbox="831 603 1487 791"> <tr> <td></td> <td>在学生</td> <td>延べ参加者</td> </tr> <tr> <td>1学年</td> <td>144人</td> <td>2,390人</td> </tr> <tr> <td>2学年</td> <td>139人</td> <td>2,523人</td> </tr> <tr> <td>3学年</td> <td>148人</td> <td>2,634人</td> </tr> <tr> <td colspan="3">各学年とも全21回(開講式除く)</td> </tr> </table>		在学生	延べ参加者	1学年	144人	2,390人	2学年	139人	2,523人	3学年	148人	2,634人	各学年とも全21回(開講式除く)			<p>・より地域活動を意識した講座内容を組み入れたことにより地域活動参加率が大きく増加した。 (震災時期と申込時期が重複したため、申込期間に猶予を設けたが参加実数は減少した。24年度は回復している。)</p>
	在学生	延べ参加者																
1学年	144人	2,390人																
2学年	139人	2,523人																
3学年	148人	2,634人																
各学年とも全21回(開講式除く)																		
区内の生涯学習資源(大学等)との連携による生涯学習支援等の検討・構築	大学等の教育機関と連携した、多様な生涯学習の場や機会が提供されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学連携事業の実施(4大学) <ul style="list-style-type: none"> <li>*東京工芸大学 (大学公開講座に対するPR協力)</li> <li>*東洋大学 (野球教室の共催、区哲学堂関連講座への協力)</li> <li>*早稲田大学 (中野区・早稲田大学文化交流事業～早大交響楽団の演奏会)</li> <li>*こども教育宝仙大学 (大学主催の2つの講演会を後援、PR協力)</li> </ul> </li> <li>・大学連携の検討 23区の社会教育担当主管課を対象に「大学連携に関する実施状況調査」を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども教育宝仙大学の講演会を初めて後援し、ないせす掲載他チラシ配布等、講演会のPRを積極的に行った。</li> <li>・実施状況調査により、各区の大学連携の特徴を把握することができた。調査結果を踏まえ、中野区の生涯学習施策に資する大学連携のあり方を構築していく必要がある。</li> </ul>															

<p>地域スポーツクラブの運営・拡充(再掲)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲町小学校跡施設及び中野富士見中学校跡施設に、拠点施設が開設され、安定した管理運営を行っている。</li> <li>・任意団体が一般社団法人化されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中野区地域スポーツクラブ理事会・評議員会の開催（2回）</li> <li>・地域スポーツクラブ事業を想定したプレ事業「健康スポーツ教室」の実施（4回）</li> <li>・健康づくり・スポーツ推進モデル事業「キックオフイベント」の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「キックオフイベント」の延参加者数は、基調講演131名、パドルテニス教室53名、トリム体操教室57名、グラウンドゴルフ教室47名、フットサル39名。</li> <li>・今後は、モデル事業を行いながら、任意団体「中野区地域スポーツクラブ」とともに地域スポーツクラブ開設時の事業運営内容について検討していく。</li> </ul>
----------------------------	--	--	--

重点課題進行管理項目	9 学びと自立を支える新しい図書館づくり	担当	知的資産分野知的資産担当
------------	----------------------	----	--------------

■重点推進事業の実施内容・実績、検証

重点推進事業名	5年後に目指す状態	平成23年度 実施内容・実績	検証(成果、24年度以降への改善点等)
どこでも図書館の推進	区民の図書館利用の利便性を向上させるため、地域センターなど区民に身近な施設を活用した資料の貸出・返却サービスを実施し、気軽に身近な場所でいつでも図書資料を利用できる「どこでも図書館」を構築している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連分野と調整の上、「どこでも図書館」の推進に向けて検討した。図書館システムに、必要な機能を追加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の地域図書館の機能整理と併せて、関連分野との調整や委託業務（図書館業務、メールカー業務等）の見直しなど、事業実施に向けた準備を進めていく。</li> </ul>
各館の個性ある蔵書構成づくり	区立図書館としての魅力ある蔵書整備に加え、区民の課題解決に役立つ図書資料を整備するとともに、各館の個性づくりを打ち出し、より専門的な課題にも対応できている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区立全8図書館で企画展示（テーマ内容は2カ月ごとに更新）を実施し、関連する図書資料を充実させ、個性的な蔵書構成づくり、課題解決に役立つ資料整備に努めた。また、有志の図書館で結成する図書館海援隊へ参加するとともに、各広報媒体を活用した区民へのPRにも力を入れた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各館で行った個性づくり図書は、好評を得ているが、利用者アンケート結果をみると、まだまだ周知不足であることが認められる。</li> <li>・今後、さらなる内容充実を図りながら、区民への周知にも努めていく。</li> </ul>
学校図書館の地域利用の推進	就学前の子どもや保護者なども利用できる「地域開放型学校図書館」を条件の整った学校から順次設置し、幼児向けの図書や子育てに関する図書の充実を図り、地域の利用を推進している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連分野と調整の上、「地域開放型学校図書館」の整備に向けた検討や設置予定校との調整を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度から地域開放型学校図書館を1校で実施する。その運営状況を検証した上で、平成26年度以降、キッズ・プラザの開設や、学校再編計画による小学校の統合状況などに合わせて、地域バランスを考慮しつつ順次設置校の拡大を図っていく。</li> </ul>

<p>指定管理者導入による利用サービスの拡充</p>	<p>さらなる図書館サービスの向上と管理運営の簡素効率化を図るため、図書館システムの改善と機械化を推進するとともに、指定管理者制度を導入している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者制度導入に向けた基盤整備をすすめた。その一環として、窓口での貸出・返却・レファレンス等既存の委託業務と、区直営の選書業務を一体化した執行体制へ見直し、平成23年4月から委託化した。</li> <li>・ 24年度の企画提案公募型事業者選定実施のための募集要項等を作成した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成25年度から全館一斉に指定管理者制度を導入する。その実施に向け、導入に係る評価の仕組みについて区の基本方針を踏まえ、第三者評価委員会の設置等を含めて検討する。</li> </ul>
----------------------------	---	---	---

重点課題進行管理項目	10 区の歴史文化・伝統文化の継承と発展	担当	学習スポーツ分野文化財担当
------------	----------------------	----	---------------

■重点推進事業の実施内容・実績、検証

重点推進事業名	5年後に目指す状態	平成23年度 実施内容・実績	検証(成果、24年度以降への改善点等)
史跡・景観・文化財を中心とした、「歴史文化ゾーン」の全体構想の策定と区内の代表的な歴史散策路の設定	「歴史文化ゾーン」策定基本設計が完了し、実施設計策定が進行している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史文化ゾーン」の中核となる歴史文化遺産である「東京都指定名勝哲学堂公園保存管理計画」の策定が完了した。</li> <li>・「東京都指定名勝哲学堂公園」の周知を目的とした東洋大学連携事業「もっと知りたい哲学堂」講座を開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東京都指定名勝哲学堂公園保存管理計画」に基づいた整備事業の実施を推進していく。</li> <li>・「歴史文化ゾーン」の重要な要素である建造物の国登録文化財への申請に関して継続して文化庁との連絡調整を進める。</li> </ul>
ICT技術を活用した文化財の保存と活用	ホームページ上に区が保有する美術品などの歴史文化資料が公開されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所蔵資料管理システムの開発を完了した。</li> <li>・ホームページ上に区登録指定文化財の一覧及び写真入りの紹介記事を掲載した。</li> <li>・文化庁文化遺産オンラインに区が所有する代表的な美術工芸品と区登録指定文化財100点について写真・解説を掲載した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所蔵資料管理システムの具体的活用を進める。</li> <li>・ホームページ・文化庁文化遺産オンラインへの掲載への周知・広報と活用方法を検討する。</li> </ul>

重点課題進行管理項目	11 安全と環境に配慮した学校施設整備	担 当	子ども教育施設分野子ども教育施設担当
------------	---------------------	-----	--------------------

■重点推進事業の実施内容・実績、検証

重点推進事業名	5年後に目指す状態	平成23年度 実施内容・実績	検証(成果、24年度以降への改善点等)
耐震性能ランクBランクの全学校の校舎 体育館耐震補強工事	耐震化率 100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>谷戸小学校中央校舎耐震補強工事 補強前 IS値0.44 (Bランク) 補強後 IS値0.79 (Aランク)</li> </ul> 《耐震化率》 平成23年4月1日現在 85.47% 平成24年4月1日現在 87.83%	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震化率が2.36%向上した。</li> <li>平成23年度は谷戸小学校の中央校舎の耐震補強工事を実施するとともに、東校舎の改築工事に着工し、平成25年3月の完成を目指す。</li> <li>区有施設耐震改修計画改定版が策定されたため、耐震補強未実施の全ての学校について、平成27年度までに補強工事を完了する。</li> <li>平成24年度は鷺宮小・新井小の校舎及び四中体育館の設計委託を行い平成25年度に補強工事を実施する。</li> </ul>
太陽光発電機器の設置	毎年1校程度の設置を目指す	緑野小体育館屋根に10kWを設置した。 (竣工 平成23年9月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度末までの設置済校は、江原小・上鷺宮小・白桜小・桃花小・緑野小の5校である。</li> <li>設置計画 平成24年度1校 谷戸小学校 平成25年度1校 中野中学校</li> <li>今後改築工事の中で設置を目指すとともに、地球温暖化対策と自然エネルギーの活用の観点から、設置可能な学校の検討もする。</li> </ul>

重点課題進行管理項目	12 学校の情報化推進	担当	学校教育分野校務管理担当
------------	-------------	----	--------------

■重点推進事業の実施内容・実績、検証

重点推進事業名	5年後に目指す状態	平成23年度 実施内容・実績	検証(成果、24年度以降への改善点等)
学校間ネットワークの構築	学校の情報化が進み、学校間ネットワークが安定的に稼動し、様々な情報が共有されることにより、教育の質が向上している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度までの検討内容を元に、教育クラウドを利用した学校間ネットワーク構築の経費について、平成24年度予算要求を行った。</li> <li>・その結果、平成25年度に向け、学校情報化・学校間ネットワーク整備の方針や構築方法や運用などについて1年間検討することとなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度に向けて、学校情報化・学校間ネットワーク整備の方針・構築方法・運用及びシステムの調達方法などについて検討を進める。</li> </ul>

目標ごとの成果指標一覧

目標	成果指標	指標とする理由	策定時	実績 (年度)	26年度	31年度	担当分野
I	幼児の発達をとらえた意図的・計画的な指導を行っていると感じている保護者の割合(区立幼稚園)	幼児期に適切な教育を受けていることを示すため	96.2% (20年度)	97.0% (23年度)	98%	100%	学校教育 (指導室)
II	子どもが「学校生活を楽しく過ごしている」と感じている保護者(小学校)の割合	子どもたちが生き生きと学んでいることを示す目安となるため	94.3% (21年度)	94.5% (23年度)	96%	98%	学校教育 (指導室)
	子どもが「充実した学校生活を送っている」と感じている保護者(中学校)の割合	子どもたちが生き生きと学んでいることを示す目安となるため	87.5% (21年度)	88.5% (23年度)	92%	95%	
III	児童・生徒の学力調査の結果※	子どもたちの学力の状況を示すため	52.4% (22年度)	54.7% (23年度)	65%	70%	学校教育 (指導室)
	「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と答えた児童・生徒の割合	子どもたちが主体的に学習に取り組んでいるかを示すため	小学校 59.4% 中学校 44.1% (21年度)	小学校 62.4% 中学校 43.6% (22年度)	小学校 65% 中学校 60%	小学校 70% 中学校 65%	学校教育 (指導室)
	学校は「特別支援教育や発達障害等に関して保護者への説明をおこなっている」と感じている保護者の割合	特別支援教育の推進が図られているか示すため	小学校 44.9% 中学校 45.1% (21年度)	小学校 49.0% 中学校 45.7% (23年度)	小学校 65% 中学校 65%	小学校 70% 中学校 70%	学校教育

IV	中学1年生の希望者に行う生活習慣病健診の結果、指導を要すると判定された生徒の2年後の改善率	子どもたちの基本的な生活習慣が確立し、健康的な生活を送っていることを示すため	33% (22年度)	37% (23年度)	37%	42%	学校教育
	体力テストで中野区目標(中野スタンダード)を7割以上の児童・生徒が達成した種目の割合(小6、中3)	子どもたちの体力が向上しているか示すため	小学校6年 52% <sup>注</sup> 中学校3年 61% (22年度)	小学校6年 63% 中学校3年 67% (23年度)	小学校6年 70% 中学校3年 70%	小学校6年 75% 中学校3年 83%	学校教育 (指導室)
V	不登校の児童・生徒が通学復帰をした割合	子どもたちの心の問題への対応がなされていることを示すため	小学校 32.9% 中学校 21.9% (21年度)	小学校 27.0% 中学校 21.6% (22年度)	小学校 35% 中学校 25%	小学校 40% 中学校 30%	学校教育 (指導室)
	「自分には、よいところがある」と答えた児童・生徒の割合	子どもたちの自己有用感が培われているかを示すため	小学校 70.5% 中学校 61.8% (21年度)	小学校 72.5% 中学校 56.8% (22年度)	小学校 75% 中学校 65%	小学校 80% 中学校 70%	学校教育 (指導室)
VI	なかの生涯学習大学(平成21年度より実施)卒業後1年以内に地域活動に参加したことがある人の割合	区民の学習活動が、地域での活動へと展開していることを示す目安となるため	56% (21年度)	60% (23年度)	64%	74%	学習 スポーツ
	1回30分以上の連続した運動を週1~2回以上行っている人の割合	区民の運動をする度合いを示すため	49.2% (20年度)	49.7% (23年度)	55%	60%	健康推進

	区民一人当たりの年間資料貸出冊数（冊）	区民の図書館活用状況を示す指標となるため	6.8冊 (21年度)	6.5冊 (23年度)	6.8冊	7.3冊	知的資産
VII	文化施設の利用者数	区民が文化芸術に親しみ、活動をしていることを示すため	1,267,374人 (21年度)	1,275,416人 (23年度)	1,299,000人	1,330,000人	学習 スポーツ
	歴史民俗資料館年間入館者数	区の歴史民俗や文化財が区民に認識され、親しまれるための取組の成果を示すひとつの目安となるため	31,576人 (21年度)	36,725人 (23年度)	37,000人	40,000人	学習 スポーツ
VIII	教育委員会ホームページアクセス数	教育行政への区民の関心度とともに、区民に開かれた教育行政が行われているかを示すため	63,400件 (21年度)	56,235件 (23年度)	80,000件	85,000件	子ども 教育経営
	学校施設整備・維持等に対する保護者の満足度	快適な教育環境が整えられているかを示すため	小学校 83.2% 中学校 77.9% (21年度)	小学校 82.0% 中学校 78.7% (23年度)	小学校 90% 中学校 87%	小学校 90% 中学校 87%	子ども 教育施設

注 「中野区教育ビジョン(第2次)」策定時実績の訂正(該当箇所 冊子 31 ページ)  
(誤) 68% ⇒ (正) 52%